



農事普及だより

(11月号 平成28年11月1日～11月30日)

〔発行〕鶴田町／鶴田町農業支援センター／鶴田町産業観光課
つがるにしきた農業協同組合鶴翔統括支店
西北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室
〔編集〕西北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室



(平成28年10月25日 仙台管区気象台発表
東北地方 3か月予報より)

平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。



十分に味をのせたりんごを収穫しましょう！
黒星病対策（落葉のすき込みなど）を実施しましょう！

10月21日現在のふじの果実肥大（横径）は、板柳町高増（県生育観測所）で9.1cmと平年（8.7cm）よりやや大きい。

ふじ（りんご研究所（黒石市））の熟度は、10月19日現在、平年値と比較して、有袋は、糖度及びヨード反応指数は同程度、酸度及び着色指数は低い。無袋では、硬度は高く、糖度及びヨード反応指数は同程度、酸度及び着色指数は低い。総合的にみて、ふじの熟度の進みは平年並みと見込まれる。

1. 晩生種の収穫

（1）収穫時期

晩生種の収穫は、王林が10月29日頃、有袋ふじが10月30日頃から始まった。無袋ふじは11月4日頃からである。

（2）適期収穫

収穫が早すぎると、王林、ふじではビターピットや貯蔵やけの発生が多くなり、遅くなると、ふじでは内部褐変やつる割れが多くなることが心配されるので、適期収穫に努める。

（3）果実疫病防止対策

ア 収穫直前まで

反射シートを片づける際には、土を飛散させないようにし、りんご樹にかけて干さない。収穫用のかごや箱の土は、あらかじめ洗い落としておく。

イ 収 穫 時

降雨時の収穫は行わない。やむを得ず収穫する場合は、果実に泥が付着しないように注意する。

落果や収穫の際に落とした果実は、収穫果に混入させない。

ウ 収 穫 後

収穫果は、長く野積みしない。

2. モモシンクイガ対策

収穫、山選果の際に、モモシンクイガ被害果を徹底して選別する。

3. 黒星病対策

被害落葉は伝染源となるので、病原菌の密度を下げるため、落葉をかき集めて処分、もしくは土中にすき込むなど耕種的防除対策を積極的に行う。

4. 腐らん病対策

収穫後の薬剤散布は採果痕などからの感染を防止する効果が高いので、腐らん病の発生が多い園地では、ふじの収穫後できるだけ早めにトップシンM水和剤1,000倍、ベンレート水和剤2,000倍、ベフラン液剤25 1,000倍のいずれかを特別散布する。

5. 収穫後の園地管理

（1）苗木の植付け、補植

ア 農薬の飛散低減や作業効率の向上を図るため、同一品種や早生、中生、晚生種など収穫時期ごとに区分して植える。
イ 苗木は、根頭がんしゅ病や紋羽病、ネコブセンチュウ等病害虫の被害がない健全なものを選び、植付け前に必ず根を消毒する。
ウ 植穴には、堆肥、苦土炭カル等の土壤改良資材を施用する。

（2）酸性土壤の改良

酸性土壤の園地では、苦土を含む石灰質肥料を施用後、下層への浸透を図るために、5cm程度の深さで軽く耕うんする。長年、耕うんしていない園地では、断根による悪影響を避けるため、晚秋に実施する。

（3）雪害防止対策

根雪前に、雪害を受けそうな枝への支柱入れや不要な枝の剪去、幼木の枝の結束などをを行う。

（4）野ネズミ対策

野ネズミの被害の防止法には園地の清耕や忌避剤の使用、ワフや殺そ剤を使って野ネズミの密度を減らす方法等があり、これらを組み合わせ、総合的に行なうことが望ましい。殺そ剤や忌避剤を利用する際には、使用基準を遵守する。

ア 園地を清掃し、餌となる果実や作物の残さなどは片づける。

イ 草生、敷草等を行っている場合は積雪前に幹の周辺を清耕にしておく。

ウ 特に被害を受けやすい苗木及び若木には地上1m位の高さまで（積雪の多いところではさらに上まで）樹幹に金網や合成樹脂のプロテクターなどの被覆材料を巻きつける。

エ 殺そ剤による駆除は体内に入った場合にのみ効果を現すので、毒餌への食いつきが悪い場合は、殺そ剤を含まない餌を与えて2～3日喫食させた後に毒餌をおく。

雪害や水害等の様々な気象災害から経営を守るために、果樹共済（総合一般方式）に加入しましょう。



貯蔵中の品質管理を徹底しよう！

1. スチューべンの貯蔵

（1）腐敗は灰色かび病菌による場合が多く、この菌は低温でもよく繁殖するので、貯蔵温度を0℃付近に保持するとともに、貯蔵中でも被害果は取り除く。
（2）被害果を取り除く目安は、穂軸、果軸の萎縮や褐変が軽く見え始め、1果当たり1～2粒が脱粒し始めた頃である。

2. 剪 定

（1）剪定は、落葉後早めに行う。
（2）架線の巻ひげや枯死枝は、晚腐病や黒とう病の越冬源となるので必ず除去し処分する。

3. 収穫後の園地管理

収穫後は園地を清掃するとともに、酸性土壤の改良や野ネズミ被害の防止、雪害の防止等の対策を行う。（りんごの項を参照）

特に本年、ベと病や晚腐病などが発生した園地では、被害葉・新梢などが翌年以降の伝染源となるため、丁寧に取り除き、適正に処分する。

日本一健康な土づくり運動展開中

稻わらは焼かずに有効活用しましょう!!

おとうももうめあんず

休眠期のコスカシバ対策を徹底しよう！

1. コスカシバ対策

被害が見られる園地では、落葉後から萌芽期までに、以下の薬剤を選択し、樹幹部と地際部に薬液が十分かかるよう丁寧に散布する。

薬剤	樹種	おとう	もも	うめ	あんず
ガットキラー乳剤 100倍	○	○	○	○	
ラビキラー乳剤 200倍	○	○	○	—	

2. 収穫後の園地管理

収穫後は園地を清掃するとともに、酸性土壌の改良や野ネズミ被害の防止、雪害の防止等の対策を行う。（りんごの項を参照）

野菜

こまめな温度管理により生育量の確保に努めましょう。

アスパラ菜（オータムポエム）

1. 栽培管理

- (1) 主茎が5~10cmくらいに伸び始めたら、大きい葉5~6枚を残し、早めに摘心する。
- (2) 摘心が遅れると、側枝の発生が遅れたり、細くなるので適期に行う。

2. 温度管理

- (1) 日中は20℃前後で管理する。
- (2) 低温で生育が停滞するので、最低気温が5℃以下にならないように、内張（2重カーテン）やトンネルなどで保温対策を講ずる。

仔れんそう・こまつな

1. 栽培管理

- (1) 内張などを設置して保温する。
- (2) 株が混んでいる場合は、発芽が揃った頃と本葉2枚の頃の2回程度、間引きを行って生育を揃える。

- (3) 基本的に追肥やかん水は必要ないが、土壌が乾きすぎたり、生育が劣るような場合には暖かい日を選んで行う。
- (4) ほうれんそうにケナガコナダニの発生が見られるほ場では、以下の薬剤を散布する。

薬剤名	使用倍数	使用時期	使用回数	備考
アファーム乳剤	2,000倍	収穫3日前	2回以内	
コテツフロアブル	4,000倍	2葉期まで (但し、 収穫14日前 まで)	1回	葉害に 注意

2. 収穫・調整

収穫適期となったら、葉を傷めないように収穫、調整する。

大豆

収穫は適正水分で行いましょう。

1. 収 穫

- (1) 収穫は、完全に落葉し、莢が褐色に変化し、莢内で子実がカラカラ音がする頃が目安である。
- (2) 刈取時の水分
 - 子実水分20%以下（豆に爪を立てるとき跡が残る程度）
 - 莖水分50%以下（莖を爪でこすっても表皮が剥けない程度、手でポキッと折れる）
- (3) コンバイン収穫時に、土かみによる汚損粒が発生しないよう注意する。
- (4) 降雨後は、莖や莢が十分乾燥したことを確認してから作業を行う。

2. 乾燥・調製

- (1) 子実水分は15%以下にする。
- (2) 紫斑病、マジンクイガの被害粒を除去する。

小麦

適正な管理で、越冬前の生育量を確保しよう。

1. 湿害対策

ほ場の排水対策を徹底し、湿害が発生しないようにする。

2. 雪腐病防除

- (1) 11月中旬（根雪約4週間前）から根雪直前の期間に1回薬剤を散布する。
- (2) 薬剤散布後、速やかに薬液が乾くような条件で防除する。
- (3) 水和剤や液剤を使用する場合、薬液には必ず展着剤を添加する。

3. 麦踏み

- (1) 早播きや高温などにより、伸びすぎた場合や凍霜害の恐れがある場合には、トラクタの車輪又はローラ等で踏圧作業を行う。
- (2) 時期は、10月下旬～11月中旬及び茎立ち前の3月下旬～4月上旬とする。
- (3) 多湿ほ場では、湿害が助長されるので行わない。

○安心な農産物生産のため、農薬使用状況を必ず記帳しましょう。

○農薬使用の際には、必ず使用者の責任で最新の「農薬登録情報」を確認しましょう。

○短期暴露評価の導入により使用方法が変更された農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法で使用してください。



[農業の相談はこちらへ]

農業についての各種相談を受け付けております。受付した内容は即時対応いたしますので、気軽にご相談ください。

鶴田町農業支援センター 「豊明館」となり

午前9時から午後5時 ☎22-2111（役場産業観光課）

町農業委員会では、毎年6月中旬から農地パトロールを実施し、遊休農地や、放任園等の発生防止に取り組んでいます。

農地の貸借や売買については、町農業委員会へご相談ください。

～農事普及だよりは町ホームページにも掲載しております～

URL <http://www.town.tsuruta.aomori.jp/kurashi/kurashi-nougyou/post-117.html>